平成24年度 第2回 白井市市民参加推進会議　次第

日　時：平成24年6月20日（水）
　　午後3時00分～
場　所：白井市役所　3階　第2会議室

次　　第

１．開　　会

２．会長あいさつ

３．議　　題

1）平成23年度 市民参加の実施状況に対する総合的評価

2）視察について

3）その他

４．閉　　会

第3回市民参加推進会議は、6月24日（日）に木更津市を視察します。

第4回市民参加推進会議は、

7月11日（水）午後3時～　3階第2会議室で開催します。

資料1　平成２４年度 第2回市民参加推進会議資料

事　業　名　:1. 第5期高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定事業【平成22年度～平成23年度】

総合評価点			○　85点		○　85点		○　85点		○　76点		○　80点		○　79点		○　82点		○　75点		○　85点		○　85点		81.7点
コメント		**H22評価時点のコメント** ○ ヒアリングの調査結果を予定通り公表するとともに、計画案に対するパブリックコメントを予定通り実施していただきたい。 ○ 市民参加条例第24条に規定する「その他の方法」として、事業者等団体にヒアリングを行ったことは、条例で規定されたアンケート等の市民参加の手法と比べて、自らが検討して実施した意欲的取り組みであることから評価した。 ただし、情報公開が現時点では限られていることから、情報公開について、今一層の成果を期待したい。	バランスよく目配りされて適正である。		市民公募5名の選出バランスが良い（NT以外）会議の回数6回（実数9回）の出席率が高いとはいえない。		フォーマルな市民参加の指標に基づけば、適切である。		公募委員の会議への参加率が60%台は、開催予定日を立てる際、問題はなかったか。		高齢者が楽しく、安心して暮らせるための、事業計画、そして、実施をお願い致します。		高齢化の時代に関心が高いことはアンケートの回収率の高さが物語っている。 ヒアリングの実施は評価。 情報提供がやや不足している。		今年度から国の公的介護保険制度がかなり変わっているが、今までの事業の計画策定では対応しきれない部分が発生しているのか今後どのように対応していくのか見守りたい。 パブリックコメント・アンケートの内容等を再検討する必要があるのでは。		要支援・要介護対象者や事業者団体等にはアンケートやヒアリングをきめ細かく実施視しているが、一般市民への情報提供に工夫が必要かと感じた。　高齢者問題は国の最重要問題であるから若年層から高齢対象者まで情報の共有が必要かと思う。		ほぼ必要とする条件を満たしており、満足できる評価点である。最も住民から介護保険料を徴収しているので十分な市民参加が得られているようにもとれる。		今後、益々高齢化社会が増していく中でこの項目は最重要課題となっている。 知恵を出し合い、真剣、真摯に議論している。		
評価項目	**配点**	**実施状況**	**評価点**	**コメント**	**評価点**	**コメント**	**評価点**	**コメント**	**評価点**	**コメント**	**評価点**	**コメント**	**評価点**	**コメント**	**評価点**	**コメント**	**評価点**	**コメント**	**評価点**	**コメント**	**,**	**コメント**	
実施した市民参加の方法	20	H21.12～H24.12 審議会等（介護保険運営協議会）の設置 H23.1～H23.2　アンケート調査実施 H23.1～H23.2　市内18事業者等へのヒアリング H24.2　パブリックコメント実施	20		20		20		20		20		20		20		20		20		20		**20.0点**
審議会の設置	15	※委員15名のうち5名市民公募委員 （市民5名、学識5名、事業者等5名） ※応募者6名のうち、選考基準に従い5名選定 ※会議は6回開催（平日昼）全て公開 ※議事録すべて公開済	15		15		15		13	公募委員の出席率が60%台は、開催日が多すぎるとか、委員の都合を考慮しなかったのだろうか?	15		15		15		15	会議への公募委員の欠席が気になる、理由は？	15	選定基準が良い公開の会議を6回もしており、議事録も公開されており減点なし。	15		**14.8点**
パブリックコメント募集	15	H24.2　広報しろい・市HPで周知及び募集 15日間募集　意見3件 H24.4　市HP・情報公開コーナーで公開	15	23年度内は概ね適正である。	15		15		13	在来地区には回覧板を回してほしい。市のウェブサイトを開く高齢者が多い。	15		9	3件は少なく意外だが、事業の責任とも言いかねる。	12		10	意見が2名／3件は少ない気がする。 公表方法に工夫を要する。	15	意見は3件と少ないが3項目は共に適切に実施されているので減点なし。	15		**13.4点**
アンケート調査実施	10	H23.1.31～2.18 第5期高齢者福祉計画・介護保険事業計画 策定に係るアンケート調査実施 ①対象　要支援（1.2）+要介護（1.2）+65歳以上2,000人 計2,809件 回収率：77.0% ②対象　要介護（3～5）の在宅者　計371件 回収率：68.2% ③対象　40歳以上64歳未満の市内在住男女2,000人 回収率：61.7% H23.9　アンケートの結果を市HP・窓口で公開 H23.11　広報しろいでアンケートの結果の概要を公開	10		10	回収率高い	10		10	回収率の係の努力が見える。	10		10	回収率の高さは高く評価する。	10		10	アンケートは各階層に数的に多いアンケートをしていると思う。	10	アンケート結果の報告は広報誌に詳細に纏められており減点なし。	10		**10.0点**
意見交換会の開催	15	実施なし	－		－		－		－		－		－		－		－		－		－		
その他の方法	10	H23.1.19～2.9　事業者等団体ヒアリング 対象　事業者等18団体 介護事業者関係12（施設8団体、居宅4団体） 社会福祉協議会、ボランティアセンター 在宅介護支援センター（4） 目的　アンケートや給付データだけではつかめない 実態を把握するため直接ヒアリングを行い、 実態に即した計画を策定するため	10		10	公表はするのか。	10		10		10		10	ヒアリングの実施は地道な努力なくしてはできないことだ。	10		10	事業者関係への直接ヒアリングも多数してる、アンケートと共にきめ細かい作業をしている。	10	ヒアリングの対象団体・目的共に適切に処置されているので減点なし。	10	ヒアリングについて、対象団体を多く呼びかけて熱心に取り組んでいる。	**10.0点**
住民投票	－	実施なし	－		－		－		－		－		－		－		－		－		－		
市民への情報提供	15		15		15		15	なしうることは行われている。妥当である。	10	意見提出数が少ない。	10		15	会議も公開され、会議録も公開されている。	15		10	対象者及び関係者への対応は良いが一般市民への情報提供の取り組みがイマイチの感がする。	15	12年4月15日の広報誌で詳細に情報提供されている。第5期であり事前告知は十分と思う。告知媒体は個人にパンフレットなどを配布するなどより効果的な媒体を検討すると良いのでは？	15		**13.5点**
特記事項等																							

事　業　名　:2. 白井市環境基本計画策定事業【平成22年度～平成23年度】

総合評価点			○　65点		○　64点		○　68点		○　70点		○　75点		○　66点		○　90点		○　63点		○　70点		○　83点		71.4点
コメント		**H22評価時点のコメント** ○ 審議会開催の周知が実施されておらず、また審議会の議事録、アンケートの結果の公表が遅れていることなど、市民への情報提供の取り組みが極めて弱い。 ○ 結果の公開は、様々な市民の意見を得るきっかけとなるので、審議会後に速やかに議事録を公開するなど、市民への情報提供に積極的に取り組むこと。 ○ なお、本事業は平成23年度までの事業であり、現時点では市民参加も途上にあることから、今後に予定されているワークショップ、意見交換会の開催やパブリックコメントの実施にあたっては、市民参加の幅を広げて、様々な市民が参加できるような環境を作るとともに積極的に市民への情報提供が行われることを期待して評価した。	総合評価点こそ結果的に良好になってはいるが、第12条、第13条、第17条、第20条が遵守されておらず、市民参加への取り組みという観点からは極めて不十分。		傍聴者の参加を実施すべき。公開はない。		市民参加条例が施行されていること自体を知らないというのは、この場合の抗弁にならない。当該条例が施行されてからの年月を考慮すると、極めて遺憾である。		農地や山林を持つ在来地区からの審議委員が一名もいないのは、選考方法に一考が必要ではないか。		市民の皆様が健康的に楽しく生活が出来る環境の維持、推進に向けて事業展開をお願い致します。		ほとんどの手法を駆使して、量的には評価できるが、情報提供が弱い。				行政・事業者・市民団体・市民等が複雑に関係する環境問題の環境基本計画策定は大変難しいが同時に重要課題でもある。 環境破壊が声高に言われている今日、白井市の緑豊かな環境は貴重であり財産である、また市民の白井市に対する評価が高い。また市の基本方針が市と市民の双方向の情報交流により市民参加・協働を推進する、と謳っているが会議、議事録の公開規定も把握せずに会議を進めてきた担当部門はお粗末である。		市民参加の方法は、必要量クリアーしている。				
評価項目	**配点**	**実施状況**	**評価点**	**コメント**	**評価点**	**コメント**	**評価点**	**コメント**	**評価点**	**コメント**	**評価点**	**コメント**	**評価点**	**コメント**	**評価点**	**コメント**	**評価点**	**コメント**	**評価点**	**コメント**	**評価点**	**コメント**	
実施した市民参加の方法	20	H22.11～H23.12　審議会等 （白井市環境基本計画策定委員会）の設置 H22.12～H22.12　アンケート調査実施 H23.10～H23.11　意見交換会の実施 H24.2　　パブリックコメント実施	20		20		20		20		20		20		20		20		20		20		**20.0点**
審議会の設置	15	※委員30名のうち9名市民公募委員 （市民9名、市内事業者3名、市内環境団体3名、市職員15名） ※応募者10名のうち、選考基準に従い9名選定 ※会議は10回開催（平日昼）全て非公開 ※議事録は未公開	9	①会議非公開（第12条） ②議事録非公表（第13条） ③公募委員の低出席率　は適正を欠く。	9	会議の出席率も低い。	8	会議の公開（第12条第1項）の理由がない（第12条第2項）。また、会議録非公開の理由の開示も、「法治行政」にあるまじきものである（第13条）。	10	回数が多く、公募委員の出席率が16.7～20%なのはいかがなものか。	10		9	議事録未公開の理由は何なのか。	15		8	会議傍聴の公開、議事録の公表が一度もない理由として規定を把握していなかった、とはお粗末極まりない。	12	①公募委員の選定が適切 ②会議も10回公開で実施 ③会議の議事録が公開されていないので今後公開が必要3ポイント減点とした。	12	議事録の公開を望む。	**10.2点**
パブリックコメント募集	15	H24.2　広報しろい・市HPで周知及び募集 15日間募集　意見8件 H24.3　市HP・情報公開コーナー・図書館・各センター等で公開	15		15		15		10	応募数が少ないが工夫はないか。	15		13		15		15		15	公表時期も良い、意見も8件と多い環境問題には多くの住民が関心を持っている証拠。公表にはHPでも十分だが広報誌でも公開できるとなお良い。	15		**14.3点**
アンケート調査実施	10	H22.12.1～12.13　白井市環境基本計画の策定に伴うアンケート 調査 ①対象　市内在住男女2,000人 回収率51.2% ②対象　事業者（社）300件 回収率：56.7% ③対象　小中学生（小6、中3）655人 回収率：79.2% H22.12.1　アンケート調査事前周知掲載（広報しろい） H24.2.15　アンケート調査の実施を報告（広報しろい） ※基礎資料のため結果公表せず。	7	結果不公表（第17条）は不適正。	5		10		7	小中学生のアンケート回収率は、指導教員の指導によってはさらに向上する。係から教職員に対する指導はどのようにしたのだろうか。また、保護者にもアンケートを子どもたちを通じて取れば、更に多くの意見が集まると思う。	10	アンケートの回収率の高さは、市民の意識レベルの表れだと思います。	6	小中学生を対象にした発想は新鮮だが、結果は公表されない。	10		5	小中学生から一般市民迄多数にアンケートを取ったのは良とする。	8	調査設計、実施は良好と思う。広報誌で事前通知、実施を報告しているが、結果の報告が公表されていないのは残念である。2ポイント減額する。小中学生の回収率が少し低いように思う。	7	結果の公表を望む。	**7.5点**
意見交換会の開催	15	H23.10～H23.11　意見交換会の実施 H23.11　広報しろい・市HP・市窓口で周知及び募集 対象　環境団体 市民（広報しろいで募集） 目的　環境基本計画素案について、環境団体及び市民から意見を募集、交換するため。 ※開催記録は未公開	9	開催記録非公表（第20条）　は不適正。	10	参加者が少数であり、実績として役立つか。第20条で公表すべきとある。	10	開催記録が非公開である（第20条）。	13	各会場の参加者を増やす努力は大変だと思う。	10	記録が未公開である。	9	意見は交換されているが、記録は公表されていない。	15		10	意見交換会の参加人数が少ない、公表しない理由は何か。	10	公表事項、公表方法については検討の余地がある開催記録が公開されると、市民の意識の傾向が分かり一般市民にも役立つと思う。一項目が欠けているので5ポイント減点する。	14	開催記録の公表を望む。	**11.0点**
ワークショップの開催	10	実施なし	－		－		－		－		－		－		－		－		－		－		
住民投票	－	実施なし	－		－		－		－		－		－		－		－		－		－		
市民への情報提供	15		5	第12条、第13条、第17条、第20条　が遵守されておらず、極めて不適正。	5	情報提供が十分とはいえない。	5	情報提供を積極的に行っているとはいえない。この点においては、不適切であるといえよう。	10	小中学生のアンケートを保護者にも取っていただければ親子で会話が弾むと思うが。	10		9	会議の日時も公表なく、会議の公開もない。	15		5	情報公開の規定も把握せず会議の公開、会議録の公表もせず終わった。	5	・審議会の設置、パブリックコメントの募集、アンケート調査の実施、意見交換会の開催と4項について実施。 ・事前告知は一応合格と思うが ・告知媒体には問題がある何故か結果の公表を避けている。	15		**8.4点**
特記事項等																							

事　業　名　:3. 美しい景観形成推進事業【事業継続中・平成23年度末時点】

総合評価点			○　63点		○　63点		○　64点		○　62点		○　65点		○　61点		○　57点		○　63点		△　50点		○　66点		61.4点
コメント			第17条が遵守されてない点は問題。		市の未来図をわかりやすい形で公表してもらいたい。		環境は、日本が世界をリードしているともいえる。その代表例は、6月5日（環境の日）であり、6月（環境月間）である。これは、日本の提唱による。「持続可能な発展」という今ではありふれた言葉をかんがみると、当該事業はそのモデルとなるように、白井市の先進的モデル事業となることを期待する。		小中学生も巻き込む小中学生写真展も開催できればと思う。		現在白井市の現状、里山とニュータウン相互の調和を保ちながら、より一層の景観形成事業の推進に期待いたします。		写真展は市民の意見を聴取することを目的としていて素晴らしい。アンケートの情報提供が今一つだ。		現時点では写真の展示会だけで景観形成推進事業としては、「羊頭狗肉」のような感じがする。景観形成事業の取り組みを期待されている。		白井市民のアンケートで緑豊かな景観はトップクラスで評価が高い。当事業で今後の乱開発を規制して欲しい。		掴みどころの無い事業だけに良好の55点に達しなかった。市民の動向では期待する事業にはならないのではと危惧する。つまり都市工学の専門家の力を借りて白井の未来像を育てる必要があろう。		いまいち積極的なPRと訴求力が不足している感じを受ける。		
評価項目	配点	実施状況	評価点	コメント	評価点	コメント	評価点	コメント	評価点	コメント	評価点	コメント	評価点	コメント	評価点	コメント	評価点	コメント	評価点	コメント	評価点	コメント	
実施した市民参加の方法	20	H22.10～H24.3　審議会等（白井市景観基本計画等策定検討委員会）の設置 H22.6～H22.7　アンケート調査実施 H24.2　景観に関する意識醸成のための写真展開催	20		20		20		20		20		20		20		20		20		20		20.0点
審議会の設置	15	※委員8名のうち3名市民公募委員 ※応募者7名のうち、選考基準に従い3名選定 ※会議は9回開催（平日昼）全て公開 ※議事録は全て公開	15		15	会議参加率が良い。	15		15		15	審議会設置、議事録公開等すべて良。	15		15		15	会議回数が当初予定の6回が9回と議論が進んだ事と思う、また会議公開、会議録公開もしている。	15	審議会の条件は満たしているが応募者の7名のうち選考基準により、3名は少ないように思う。半分程度が望ましい。会議は9回で全て公開で15点。	15		15.0点
パブリックコメント募集	15	実施なし	－		－		－		－		－		－		－		－		－		－		
アンケート調査実施	10	H22.6.10～6.30 景観基本計画等を検討するための基礎調査 目的　計画の基礎資料とするため 対象　市内小学生（4年生以上）中学生 及び保護者　6,846件 回収率　回収率51% 周知　学校を通じて周知 ※基礎資料のため結果公表せず。	6	結果非公表は不適正。 また、学校を通じても回収率51%は如何なものか。	5	第17条第3項の公表すべきに反している。	7	第17条第3項の規定があるため、「基礎資料」であることは公表しない理由にならない。今後、どのような形で公表するかを提示すべきである。	9	回収率が学校を通じての割には低い。教職員に係の人はどのようにお願いしているのだろうか。	10		7	基礎資料とは公開しなくて良いものか。	5		8		5	美しい景観形成推進とは何なのか良く分からないで回答した人も多いと思う。結果の公表することで啓蒙にも繋がるように思う。ポイントは半分と評価する。何を美とするのか、結果に興味がある。	9	結果公表を望む。	7.1点
意見交換会の開催	15	実施なし	－		－		－		－		－		－		－		－		－		－		
その他の方法	10	H23.9.15　写真展の開催 対象　市民一般 目的　市民が所有する景観の写真を利用し、市民に　景観の意識を醸成させるとともに、景観に関する 意見を聴収する。 内容　平成21年度から市役所、保健福祉センター・　白井駅・西白井駅で実施 H21は見学者から意見の聴取を目的としたアンケートを実施	10		10		10		8	小中学生対象の写真展、高校生にも参加してもらう写真展も企画があっても良かったのでは。	10		10	写真展は西白井駅で見たが、素晴らしい。	7		10	駅構内での景観写真展は多数の市民の目につくので良い方法である。	5	開催の目的は分かるが、写真の芸術性が問われるので評価の点数を出すことは難しい。結果が出しにくいので5ポイントとする。	10		9.0点
住民投票	－	実施なし	－		－		－		－		－		－		－		－		－		－		
市民への情報提供	15		12	第17条が遵守されておらず、不適正。	13	アンケート未公開がマイナス	12	上述のように、市民に納得できる理由を述べるべきである。この点は、市民参加条例の目的にもつながるところなので、説明責任をしっかり果たしてほしい。	10		10	アンケート未公開	9	アンケートが公表されていない。	10		10	駅での写真展は告知媒体としては良いが、その他の情報提供はしていないのが積極性に欠ける。	5	積極的に情報提供しているとは思えない。しろい広報誌にも「市の美しい景観写真展」として1回のみである。事前告知も一般市民には通じているか疑問が残る。単なる写真展と思われているかも知れない。	12		10.3点
特記事項等																			市が良好なとはどの様な都市景観なのか、田園景観形成なのかやはり何処かの出来上がった町並みを参考に紹介してイメージを付けないと市民には迷うのみで結果は期待できないのでは無いか。				

事　業　名　:4. 白井市除染実施計画策定事業【事業継続中・平成23年度末時点】

総合評価点			○　55点		△　50点		○　58点		△　50点		○　55点		△　54点		△　52点		△　51点		△　38点		○　60点		52.3点
コメント			23年度末時点で概ね適正であるが、議事録の公開方など一層の工夫を求めたい。		残留放射能は長く影響を与える。しっかりとした計画策定を望みたい。		今回のような事態について、所管課の方々のご苦労を思えば、厳しい評価かもしれない。しかし、市民の安全安心に関わることなので、市民に開かれた行政を行ってほしい。		農地が汚染されていると農作物は出荷できない。農家が審議委員に1名もいないのはなぜだろうか。		次代を担う子供達の為にもなるべく早期の対策をお願い致します。併せて、汚染状況の更新も必要だと思います。		国内で最も関心事であることは、パブコメ60件という驚異的な数字が物語る。量的にも質的にもより市民参加を進めるべきだ。		東北地震津波災害、福島原発問題など予測できない災害の発生に現在の基本計画策定には対応しきていない。 予定は予定として、もっと柔軟に原発問題、瓦礫処理問題、除染問題等々までも事業の計画策定に盛り込まれていたらと考える。		経験のない原発事故に対して、政府の初期対応に相当の批判はあるが、白井市も対応が遅かったのではないか。 放射能測定器の購入、食品検査機器の購入、市民への通達等。今後大災害が発生した時の検討課題が多いと思います。		非常に低い評価となった。80ポイントを目途に市民参加を進めて欲しいものです。		全く予期していなかった未曾有の東日本大震災が起きて1年3か月余り。 未だ後遺症が残ったままという感じ。 今後もいつ起きるか予測出来ない不安の中で各界・各層から多くの意見を入れての取り組みを望む。		
評価項目	配点	実施状況	評価点	コメント	評価点	コメント	評価点	コメント	評価点	コメント	評価点	コメント	評価点	コメント	評価点	コメント	評価点	コメント	評価点	コメント	評価点	コメント	
実施した市民参加の方法	20	H23.12～H24.3　白井市放射線対策協議会 H24.3　パブリックコメント実施	15		15		15		15		15		15		15		15		15		15		15.0点
審議会の設置	15	※委員11名のうち4名市民公募委員 当初2名であったところを4名に増員 ※応募者14名のうち、選考基準に従い4名選定 ※会議は5回開催（平日昼）全て公開 ※議事録は全て非公開	12	議事録の公開は無理だったのか。	10	公開できるようにすべき	13	第13条後段。この非公開の理由は、ほかの議事録等の公開状況からかんがみ、妥当とはいえない。つまり、第13条但書に該当しない。	8	委員がすべてNT地区ばかりの人で良いのだろうか。	15	市民からの公募委員を増員した部分は評価良。	12	議事録は非公開。	12		11	①応募者は地域別・年齢別に広い範囲であるが、決定者はNT地域のみ、年齢も若年者が少ないのは何故か？　②会議録の非公開の理由として、「発言者の内容に配慮」とある、又会議録の公開もしないのは納得できない。	8	会議の公開は良いとしても、議事録は全て非公開－5ポイントを、公募委員の選定も4名で良しとするが会議の回数が5回とは少々あらっぽい感がする、半分の3点議事録はやはり全て公開を希望する。市民を疑心暗鬼にする。	15		11.6点
パブリックコメント募集	15	H24.3 広報しろい・市HP、情報公開コーナー 各センター、図書館等で周知及び募集 14日間募集　意見60件 H24.3 市HP・情報公開コーナー・各センター 図書館等で公開	15		15	コメント数が多いが、内容が理解されているか疑問である。ぱぶりっ理解できるような情報提供となっているのか。	15		14	回覧板を利用するなどの工夫があればなお良い。	15		15	意見は60件。 画期的な数。 市民の関心が強い。	15		15	他の事業のパブコメと比較して市民の意見が多いのは幼児・児童の親御さんの関心が高いのではないか。	10	意見60件とは非常な興味を示したことになる。特に問題なく満点を出したいが、結果を集約してどの様に対処するのか専門家の意見を入れて市民の安全と疑心暗鬼を払拭するこが肝心。	15		14.4点
アンケート調査実施	10	実施なし	－		－		－		－		－		－		－		－		－		－		
意見交換会の開催	15	実施なし	－		－		－		－		－		－		－		－		－		－		
その他の方法	10	実施なし	－		－		－		－		－		－		－		－		－		－		
住民投票	－	実施なし	－		－		－		－		－		－		－		－		－		－		
市民への情報提供	15		13	一層の工夫を求めたい。	10		15	今回はこの点数を付けるが、もう少し情報提供について前向きにお願いしたい。	13		10	市民への情報提供として公園等に設置して有る汚染状況の継続更新も必要。	12	会議録の非公開が気にかかる。	10		10	福島原発事故の関心は世界の的であるが、白井市も実被害、風評被害がある。より積極的に迅速で正確な情報提供をお願いしたい。	5	・積極的に情報提供に問題がある。特に事前告知に難点がある。告知媒体として、文書による告知が必要で、広報しろいとHPに	15		11.3点
特記事項等																			・除染の問題は何故除染するのか明確にして市民を迷わせないことが肝心。一部の目立ちがり屋がマスコミに情報を流すなど罰を与えるべきではないか。				

平成２４年度

白井市市民参加推進会議　視察研修資料

期　　日　　平成２４年6月２４日（日）

視 察 先　　木更津市　市民総合福祉会館

（木更津市潮見２-９）

◆日　時　　平成２４年６月２４日（日）午前７時００分～午後７時(予定)

◆視察先　　木更津市　市民総合福祉会館（木更津市潮見 2-9）
（市マイクロバスを利用）

◆内　容
（社）かずさ青年会議所（主催）、木更津市（共催）により、幅広い市民の声を行政に届けることを目的として開催される「かずさまちづくりディスカッション 2012」の視察

◆参加者　　市民参加推進会議委員７名　事務局２名　計９名（予定）

◆目　的
白井市における市民参加については、平成 16 年度の市民参加条例施行以降、市民参加の取り組みは年々増加しているものの、働き盛り世代や若年者層の市民参加に関する関心や参加状況が少ないということが市民参加の課題として指摘されている。
そこで、働き盛りや若年層といった今まであまり市政への参加が活発でなかった世代の意見を市政に反映させることを目的とした新たな市民参加の手法が求められているところである。
本年度の白井市市民参加推進会議においては、新しい市民参加の手法の一つである市民討議会が今後の白井市における市民参加の新たな手法として実施することが可能かどうかについて検討を行うため、実際に市民討議会が行われ、また活用されている木更津市の取り組み及び市民討議会の実施状況を見学することで、市民討議会について見聞を深めることを視察の目的とする。

行　程　表

※道路事情により、時間が変更になる場合があります。

時　間	行　　程
7：00	白井市役所　集合
7：15	白井市役所　出発
	バスで木更津市まで移動 ≪高速道路≫ 京葉道路～館山自動車道　千葉北ＩＣ⇒市原Ｓ．Ａ⇒木更津南ＩＣ
9：00	木更津市役所　到着
9：30 ～ 16：00	【視察】 かずさまちづくりディスカッション2012 会　場：木更津市役所市民総合福祉会館（木更津市潮見2-9） ※昼食　そば処 はせ川（予定） ※休憩は各自で対応
16：30	木更津市役所　出発
16：30 ～ 19：00 （予定）	バスで白井市役所へ移動 ≪高速道路≫ 館山自動車道～京葉道路　木更津南ＩＣ⇒(市原Ｓ．Ａ)⇒千葉北ＩＣ 白井市役所　到着

Google maps から引用

木更津市の概要

人　口		129,831 人
世　帯		55,454 世帯
高齢化率		23.3%
面　積		138.73km^2
長　さ	東　西	21.98km
	南　北	14.54km
海　抜	最　高	200.0m
	最　低	0.1m

世代別年齢構成

年　代	で　き　ご　と
古　代	豪族や庶民で形成された一大集落として栄える。
中　世	木更津の工匠「上総鋳物師」は鎌倉の大仏を鋳造したと伝えられている。
近　世	江戸時代、幕府から特権を与えられた木更津船という五大力船が、 江戸を往来。
明治 4 年	木更津県が誕生。1 年 7 カ月の間、県庁所在地となる。
大正元年	鉄道の木更津線(現在の内房線)が開通。木更津駅が誕生。
昭和 17 年	木更津市誕生
昭和 45 年	市民会館オープン
昭和 47 年	市民体育館オープン
	市庁舎が現在地(潮見)に移転
昭和 50 年	中の島大橋完成
昭和 51 年	人口 10 万人を突破
昭和 59 年	市民総合福祉会館オープン
昭和 63 年	木更津駅西口再開発ビル(アインス)がオープン
平成 4 年	業務核都市に位置付けられる。
平成 6 年	かずさアカデミアパークに、かずさ DNA 研究所が開所
平成 7 年	館山自動車道千葉から木更津間が開通
平成 9 年	かずさアカデミアセンター(かずさアーク)がオープン
	東京湾アクアラインが開通
平成 12 年	「チャレンジセンターLet's 木更津」スタート(市民活動支援事業)
平成 14 年	1 月から 3 月テレビドラマ「木更津キャッツアイ」放映
平成 16 年	木更津駅西口再開発ビルが「アクア木更津」としてリニューアルオープン
	木更津金田バスターミナルがオープン
平成 19 年	首都圏中央連絡自動車道(圏央道)木更津東 IC から木更津 JC 開通
平成 21 年	東京湾アクアライン料金引き下げ実験により 800 円に
平成 22 年	常住人口が市制施行以来の最多人口を更新し 125,963 人に
平成 24 年	木更津市常住人口が 13 万人突破

かずさまちづくりディスカッション（市民討議会）について

かずさ青年会議所・主催、木更津市・共催で開催している市民討議会「かずさまちづくりディスカッション」はより多くの市民のみなさんの声を行政に反映させようという市民参加の新しい試みで、無作為に抽出された市民の皆さんから参加者を募り、決められたテーマについて小グループに分かれて討議を行う、ドイツで考案された「プラーヌンクスツェレ」という手法に基づき行うものです。

討議テーマについて、関係者から情報提供を受けたあとグループごとに討議をし、意見の発表を行います。意見発表後、参加者による投票を行い、その結果まとめられた意見を施策に反映しようとするものです。

【実施概要】

主　　催	社団法人 かずさ青年会議所
共　　催	木更津市 ※協定書の締結により、実行委員会を設立し、役割分担（負担、情報発信等）、個人情報の保護等を明記のうえ、実施
募集方法	19 歳以上の木更津市民 1,000 名を無作為抽出し、参加依頼書を送付
目　　的	メインテーマ より多くの声を市政に届けよう
参加条件	参加依頼書が送付された宛先の方のみ参加
報　　酬	5,000 円（青年会議所が支出）
開催の契機	平成 20 年度に第 1 回の開催について、かずさ青年会議所から市へ申し入れがあり、本年度の実施が 5 年目となる。 千葉県内では、習志野市に次いで 2 番目の実施となるが、毎年実施しているのは、木更津市のみである。

【議論のテーマ】

第５回目　かずさまちづくりディスカッション2012in木更津

第１テーマ　「アウトレットの活かし方」　～あなたが市長だったら？～

第２テーマ　「高齢者・障害者を地域で見守ろう！」　～みんながおとなりどおし！～

第４回目　かずさまちづくりディスカッション2011in木更津（24名参加）

第１テーマ　「防災対応力」　3．11その時あなたは？

第２テーマ　「地域力」　市民の力が地域を変える

第３回目　かずさまちづくりディスカッション2010in木更津（24名参加）

第１テーマ　「郊外大型商業施設と木更津駅前再生（みなと再生推進構想）」

第２テーマ　「木更津市のPRと観光客とのより良い付き合い方」

第２回目　かずさまちづくりディスカッション2009in木更津（50名参加）

第１テーマ　「地域で取組む災害対応力」

第２テーマ　「個人・家庭・隣近所で取組む災害対応力について」

第１回目　かずさまちづくりディスカッション2008in木更津（28名参加）

第１テーマ　「児童福祉の充実について」

子育てをしやすい環境をつくるためにどのような行動が必要だと思いますか？

第２テーマ　「学校教育や地域市民参加による教育のあり方について」

学校や地域でのより良い教育環境をつくるために何が必要だと思いますか？

第３テーマ　「防犯体制の充実について」

子どもを安心して育める環境をつくるために何が必要だと思いますか？

【一つのテーマ（125 分を想定）の話し合いの時間配分】

【情報提供時の様子】

【ディスカッションの様子】

【発表の様子】

【ＰＲ方法】

2012 かずさまちづくり ディスカッション in 木更津

平成23年に引き続き「かずさまちづくりディスカッション」を開催します。このディスカッションは社団法人かずさ青年会議所と市の共催で、まちづくりのために新たな市民参加型の手法を用いて開催するものです。

参加者は19歳以上70歳以下の市民の中から無作為に抽出した千人に参加依頼書を送付し、参加を希望する25人を選出します(応募多数の場合は抽選)。選出された参加者で身近なテーマについて話し合い、まちづくりのためのアイディアを出していただきます。

ディスカッションの開催は6月24日(日)を予定しています。参加依頼書が届いた人はぜひ応募をお願いします。

問 企画課 ☎(23)7425 FAX(23)9338

広報きさらづ　2012年5月号

お問合せ先
社団法人かずさ青年会議所
住所　木更津市請西1-19-7
TEL　0438-36-2609
FAX　0438-37-2605

【かずさまちづくりディスカッション2012　運営マニュアルから】

かずさまちづくりディスカッション2012

話し合いの方法

1. 話し合いは原則5名のグループで行います。
2. グループ内で「進行役」「進行補佐役」「書記役」「書記補佐役」「発表役」を決めていただきます。
3. グループに補助役として主催者（かずさ青年会議所）スタッフが同席します。話し合いには参加しませんが、進行が滞ったりするようであればお声がけを致します。また、お困りの事などあれば、遠慮無くお声をお掛けください。
4. 進め方イメージは以下の通りです。ディスカッションを進める際の参考にしてください。
   ① 各自意見を付箋（ポストイット）に記入。（他の人の意見にかまわず、思いつくまま数多く。）
   ② 各自意見をグループ内で発表、記入した付箋(ポストイット)をワークシートに貼り出します。
   ③ グループ全員で話し合いをしながら意見を2つにまとめ、グループの意見を決定し、決定した意見をワークシートに記入します。（決定からもれた意見のうち、残したい意見がある場合には、所定の場所に記載でます。ただし、投票の対象外となります。）
   ④ 各グループの意見を3分程度で発表します。
   ⑤ 全グループの意見の中から良いと思う意見に投票（配布されるシールをワークシートに貼付）します。複数の意見に1枚（票）ずつ、1つの意見に全てを投票するなど、貼り方は自由です。
   ⑥ 進行は「進行役」が行います。「書記役」がグループの意見をワークシートに記入します。グループの意見発表は「発表役」が行います。
5. 第2討議テーマの話し合い前に、くじ引きによりグループ分けを行い、メンバーを変更します。
6. 話し合いのルール
   ① 討議の目的は、意見を交換し合い、グループの意見としてまとめること。
   ② 出てきたアイディアが実現可能かどうかこだわらないこと。
   ③ 他の人のアイディアを否定しないこと。
   ④ 全員が発言できるように配慮すること。
   ⑤ 他の人の意見を聞いて、自分の意見を変えるのも可能

話し合いの流れ(イメージ)

木更津市　開催プログラム

時　　間	所要時間	内　　容
9:30 ～ 10:00	30 分	開場・受付
10:00 ～ 10:15	15 分	開会式　　主催者挨拶 (社)かずさ青年会議所理事長　　堀内　正人 木更津市副市長　　服部　善郎
10:15 ～ 10:35	20 分	コミュニケーションタイム(コーディネーター中心に) 喫茶コーナーの利用 自己紹介および討議の進め方の説明
第1討議テーマ	「高齢者・障がい者を地域で見守ろう！～みんながおとなりどうし！～」	
10:35 ～ 10:55	20 分	第1テーマ情報提供 提供者:ぷれジョブ木更津連絡協議会　副会長　石川豪志
10:55 ～ 12:05	70 分 15 分 35 分 20 分	第1テーマ討議 ①付箋への自由な意見記入と貼り付け (各人ごと※他の人との重複もかまわず、数多く) ②意見交換(他の意見を否定しない) ③グループの意見をまとめ、書き出す
12:05 ～ 12:25	20 分	第1テーマ　グループ意見発表(各グループ3分、移動1分)
12:25 ～ 13:15	50 分	第1テーマ投票・昼食
第2討議テーマ	「アウトレットの活かし方～あなたが市長だったら？～」	
13:15 ～ 13:25	10 分	グループ替え・自己紹介
13:25 ～ 13:45	20 分	第2テーマ情報提供
13:45 ～ 14:55	70 分	第2テーマ討議 (討議の進め方は第1テーマ同様)
14:55 ～ 15:15	20 分	第2テーマ　グループ意見発表(各グループ3分、移動1分)
15:15 ～ 15:45	30 分　20 分 10 分	第2テーマ投票 アンケート記入
15:45 ～ 16:00		閉会式 写真撮影